

■ 租税法 答練の出題内容

(1)基礎答練(全9回60分, 計算のみ)

回数	出題範囲の備考
1	法人税法 (テキスト1の範囲から出題)
2	法人税法 (テキスト1の範囲から出題)
3	所得税法 (応用期の論点を除く)
4	所得税法 (応用期の論点を除く)
5	消費税法 (応用期の論点を除く)
6	消費税法 (応用期の論点を除く)
7	法人税法 (応用期の論点を除く)
8	法人税法 (応用期の論点を除く)
9	法人税法, 所得税法, 消費税法の応用期から出題

(2)上級答練(全4回120分)

回数	出題範囲の備考
1	法人税法 (応用期), 所得税法 (応用期), 消費税法 (応用期) の内容は出題しない。
2	所得税法 (応用期), 消費税法 (応用期) の内容は出題しない。
3	範囲指定なし
4	範囲指定なし

※ 上級答練までに理論対策講義を受講すること。また, 平成 30 年度版以降の公認会計士試験用参考法令基準集 (租税法) を持ち込んで受験するようにしてほしい。

(3)直前答練(全4回120分)

※ 範囲指定は行わない。